



しののめYMCAこども園 園だより

2021年度11月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

11月聖句 わたしの恵みはあなたに十分である。

コリント信徒への手紙 2 12章 9節

今年も分散で運動会を行いました。昨年の経験を活かし、今回は保護者 2 名までの参加に変更しご観覧頂きました。緊急事態宣言下のなかで、こども達は一生懸命、練習を積んできました。然しながらコロナ禍の影響を受けて、登園を自粛するこども達も多くおり、なかなか全員が揃い、練習する機会が取れない状況でした。その様な状況でしたが、一人ひとりが任された役割を担い、協力し合いながら、準備をして本番に臨みました。

「笑顔で楽しくやろう」「最後まで一生懸命やろう」・・・この二つの約束を守りながら、運動会に取組み、見事な演技を披露してくれました。乳児クラスから年長クラスまで、この運動会での経験を通じて、さらに心もからだも成長していく事を信じています。

こども園は 2011 年 4 月に開園し、今年で 11 年目を迎えます。新しい教育機関として、開園しましたが、こども園には教育機関としての役割と、もうひとつ大切なコンセプトと夢がありました。

それは「こども園が地域の核となり、この地に新しいコミュニティーを創る」と言う事でした。こども達がこの街を好きになり、故郷として大切に想い、保護者同士の交流が活発になり、一緒に子育てに取り組む環境や地域の創造でした。

おひさま会が組織され活発な活動が続けられています。その活動は献身的で、こども達の笑顔が溢れます。また国際的な団体である、東京ベイサイドワイズメンズクラブは、こども達を地域や、世界へ導く活動を展開し、気づきや学びを与えています。

過日、「第三者評価アンケート」を配布させて頂きましたが、これはこども園が目指している教育や役割・使命などについて皆様方からご意見を頂き、今後のこども園の教育、諸活動に活かしていくためものです。開園から 11 年が経ち継承すべきもの、また再考していくべきものを明らかにして、今後もこども園の教育、諸活動を展開して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

園長 堀江和広